

長谷川 佳彦

法学研究科・准教授

[研究]

今年度はまず、日本における抗告訴訟と当事者訴訟の意義の変遷をたどった上で、今後の展望を行った論文を公表した。その論文を契機として、抗告訴訟と当事者訴訟をめぐる日本の第2次世界大戦前の議論状況を分析する論文も執筆した。また、ここ数年取り組んでいる研究の成果の一部をまとめるべく、抗告訴訟と当事者訴訟をめぐるドイツの第2次世界大戦後の議論状況を分析する論文の執筆にも取り組んでいる。

[教育]

法学部において「行政法4」、「演習1・2」を、法学研究科において「行政法1・行政法特殊講義3」を、高等司法研究科において「行政法応用」(2クラス分)、「連携講義(行政法発展演習)」(全8回のうち2回担当)をそれぞれ担当した。

[管理運営]

法学部教務委員会委員、法曹コース連携協議会委員、および学生支援室室員を務めている。前二者との関係では、法曹コース担当教員を務めている。また、全学教育推進機構・共通教育実施推進部・教養教育部門兼任教員、蛋白質研究所研究倫理審査委員会委員、および就職担当教員も務めている

[社会貢献]

大阪市公文書管理委員会委員、吹田市公平委員会委員、および吹田市入札等監視委員会委員を務めている。また、令和5年司法試験考査委員(行政法)を務めた。